

JITAN PRESS

2006
SUMMER
issue

北海道自動車短期大学 広報紙 [ジタン プレス] Vol.1

平成18年8月21日(第1号) 発行／北海道自動車短期大学 編集／北海道自動車短期大学入試部

JITAN NEWS

実習紹介

合格者速報
一級自動車整備士

ボーディリ。ペア
実習レポート



実習紹介

「ボディリペア実習」に伺いました。

整備工場と同等の実習室で車をまるごとリペアします。

実習が行われた「ボディリペア実習場」はフレーム修正機や塗装ブースなど、実際の自動車整備工場と同等の設備を備えた本格的な実習室です。この設備の使い方を修得すると、実際の整備工場で働いても困らないとか。ボディリペアとは、損傷した車体をフレーム修正、板金、溶接等で修復し、さらに塗装により新車同様の外観を復元させる作業。今回は「パテ研ぎ」から「塗装」への行程が実習されました。専攻科車体工学専攻の「ボディリペア実習」は週2日間の実習を行います。自動車工業科でも車のパーツごとの実習を実施しますが、専攻科車体工学専攻では車をまるごと1台リペア。自動車工業科で得た基礎を大切にした応用実習だと言えるでしょう。

準備から終わりの掃除までそのすべてが大切な実習です。

作業を始める前に入念な準備を行います。実習を担当した横川正勝先生によると「始めの準備から終わりの掃除までが実習です。特にボディリペアの場合、チリやホコリが塗装に影響しますので、きっちりと準備と掃除を行います。自短の卒業生が仕事の現場で即戦力として通用するのは、こんな教育方針のおかげだと言えるでしょう。

準備を終え、車のボディの「パテ研ぎ」を行う学生の表情はとてもイキイキしています。



現在、車のボディリペアを行う整備工場が増えています。「愛車をよりキレイに保ちたい」という社会のニーズが高まった結果だと言えます。今回は、そんな注目の技術を修得する専攻科車体工学専攻の「ボディリペア実習」を取材しました。

先生と学生の信頼感がつくる楽しさと真剣さのある授業です。

した。「夢中になっている」といった雰囲気です。「とにかく本物の車を修理しているのは楽しいですね。まさに大きなプロジェクトを作っている感じです(笑)」。学生の笑顔を見ていると「好きでしようがない」という喜びを感じることができました。「ボディリペアというのは成果が目に見える形になるので楽しいと思いますよ」と横川先生。向いているのは「手先が器用な人」、そして何より「車が好きな人」だそうです。

実習は「和気あいあい」とした楽しい雰囲気の中にも「真剣さ」のある授業でした。キレのある(?)横川先生のジョークに学生だけではなく、取材者の私も笑ってしまう場面もあったほど。反面、ボディリペア実習室にチリやホコリ除けのビニールを取り付ける作業では「ゴミひとつ見逃さない」という横川先生と学生の真剣さに触れることができました。学生に横川先生について聞くと「先生

自ら整備工場を経営していたそうで、板金の腕は本当に凄いです。教わっていて間違いないという確信が持てます」と全面的な信頼を寄せていました。

今回の実習で強く感じたのは「最新の設備・技術を用いた実践的な教育を行っている」ということ。自短が常に高い就職実績を残しているのは、こんな高度な教育の積み重ねにあることを実感しました。



ボディリペア (Body Repair) とは損傷した車体をフレーム修正、板金、溶接などにより修復し、さらに塗装により新車同様の外観を復元させるもので、高度な知識と技術が要求されます。本学では自動車整備実験実習 I (1年後学期)、II (2年前学期) に板金、塗装及びフレーム修正の実習、また、関連工業分野のボディリペア演習 (2年前学期)、さらに専攻科車体工学専攻生の実習が行われています。専攻科車体工学専攻では2年の自動車専門課程を修了後、さらに1年間自動車車体整備士の育成を行います。講義と実習をバランス良く組み合わせ、板金、塗装などの専門知識と技術を修得し、総合力のあるマルチメカニックの育成に力を入れています。

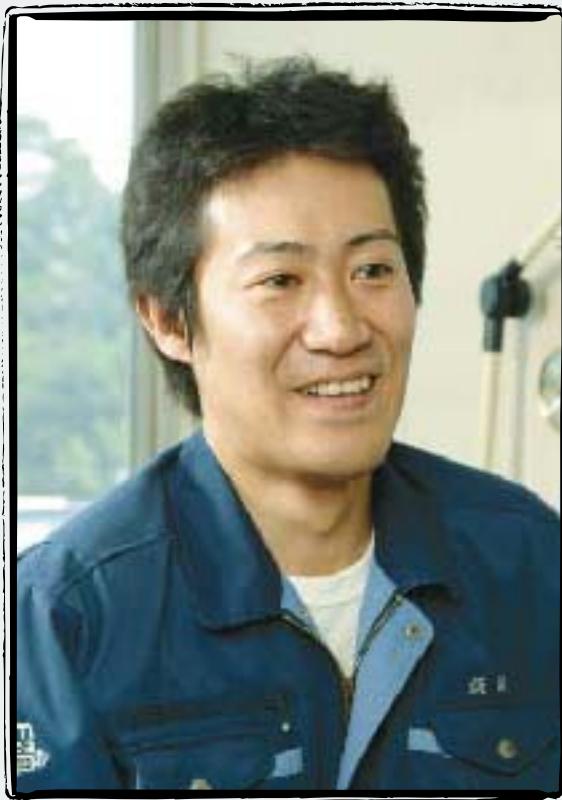


教授
刀根 勝彦

この先生が知りたい!

坂田 知浩先生

「車が好き」という気持ちから計8年間、大学に通った卒業生教員。



Profile

1996年 北海道自動車短期大学
自動車工業科入学

1998年 北海道自動車短期大学
研究生として学ぶ

2000年 ディーラーで1年間勤務

2001年 北海道工業大学3年次へ編入

2003年 同大学院にて学ぶ

2005年 北海道自動車短期大学の
教員に採用

▶今年からは、「バレーボール部」の顧問をつとめます。
現在部員5名。先日、2名で参加できる
「バレーボール大会」に参加。高校生の
皆さん!自短に入部の際は「バレーボール部」に入部を!



▲愛車はホンダ・シビック1600ハッチバック。小回りがきくところがお気に入り。これからはいろいろなメーカーの車に乗って、ユーザーとして車を勉強してみたいとか。

自短の先生ってどんな方たちなんだろう?
という疑問に答える「この先生が知りたい!」。
今回は尚志学園グループ2校を卒業して
教員になった坂田知浩先生を紹介します。

勉強、趣味、遊び…。それぞれの夢に向かってがんばる自短生のコーナー!



プロスノーボーダーの
大きな夢に向かって

自動車工業科第一部1年 吉井慶君

私は「プロスノーボーダーになって有名になりたい!」という夢があります。昨年まではジュニアの部で大会に出場、全日本大会にも進むことができました。結果は7位。決して納得いく結果ではありませんでしたね。今年からはクラスが一般になり、全日本に出場する事も一段と難しくなります。しかし、必ず全日本に出場してプロの資格を手に入れたいと考えています。そして、私たちの新しいチーム、北海道自動車短期大学スキーチームを活気づけ、この大学をスポーツでも活発な学校にしていきたいと思っています。

実家が整備工場を営んでいます。叔父も自短OB。2つの目標に向けて、毎日がんばっています。

学生紹介
がんばって
ます!

24歳のチャレンジに成功
一人前の検査員を目指して

自動車工業科第二部2年 高島広行君

私は現在24歳で、19歳の頃からスタンドマンとして働き続けています。今回は年齢的にも大変厳しい就職活動でしたが、検査員の内定をいたただくことができました。これは、一年半、夢を捨てずに必死に仕事と勉強を続けてきたこと、そして、企業研究を本気でやったこと、さらに、先生方をはじめとする皆様のご支援のお陰だと感じています。今後も、2級ガソリン、ジーゼルの取得はもちろん、行政書士にも挑戦していきます。「一人前の検査員として働き続けること」。これがこれからの私の新しい夢ですね。



文系四大を卒業後、就職もしましたが、本当にやりたい仕事のために自短にすすみました!

JITAN BOOK REVIEW

エンジン工学の基本がわかりやすい。「自動車エンジン工学」



本学の村山前学長と北見工大の常本学長の共著。エンジンの歴史や仕組みをトピックスで描いた学術的な書籍です。内容は、内燃機関の歴史、サイクル計算・および出力、燃料・および燃焼、火花点火機関、ジーゼル機関、内燃機関による大気汚染、シリンダー内のガス交換、冷却、潤滑、内燃機関の機械力学などが堅苦しくなく、誰にでも解りやすいように書かれています。このコーナーでは、次号から JITAN の先生たちに「おすすめの本」を紹介してもらいます。お楽しみに!

■著者:村山正、常本秀幸 ■サイズ/ページ:A5判/224頁 ■定価:2,415円(税込) ■出版:株式会社山海堂

全国トップレベルの合格実績!

1級自動車整備士11名合格(合格率79%)!

速報

※全国平均49%

全国トップレベルの合格実績!
本学で一級整備士を目指そう!

一級小型自動車整備士・自動車整備技術「サルタント

教授 長谷部 敏樹

助教授 芳賀 誠一

自動車整備最高峰の資格である一級自動車整備士試験が実施されてから、「ディーラーをはじめ一般工場でもスタッフの一級資格取得に力を入れています。これは、一級自動車整備士が高度な整備技術力に裏づけされたアドバイザー能力と、社会的ニーズが高まっている環境保全・安全管理などに応えられる存在として位置づけられていることの表れです。

北海道自動車短期大学では、最短で一級自動車整備士に育てる充実した教育環境を整えた「専攻科自動車工学専攻」を設立し、整備業界のリーダーとして将来を担うスペシャリストを育成してきました。

平成17年度登録試験(18年3月実施)の学科試験では受験者14名全員合格(合格率100%)を達成できました(全国平均30%)。また、5月14日に行われた口述試験では、11名合格(合格率79%)しました(全国平均49%)。これは合格者数・合格率とも全国トップクラスの成績です。学生諸君がクラスのチームワークで日夜頑張ったのが第一の要因ですが、優秀な教員スタッフの強烈なバックアップがあつたこと、さらには特別優秀な学生が2名いたこともポイントでした。最高峰の資格である一級自動車整備士を目指す方は、全国でも最短で確実に一級資格取得が可能な本学自動車工学専攻に進学されることをお勧めいたします。

3月26日(日)に実施された自動車整備士登録試験において、本学教員の富山・山崎・芳賀の3名が一級小型整備士に合格しました。昨年6月上旬から約9ヶ月間、毎日(GWを含む)口述試験対策を練習を受講して3月の筆記試験に合格。その後の口述試験に向け、試験前日までの約1ヶ月間、毎日(GWを含む)口述試験対策を繰り返し行うことにより、3名とも無事に合格する事ができました。一級整備士の合格率は非常に低く、出題範囲も広範囲であるため幅の広い勉強が必要であります。この経験を今後の学生指導に活かしたいと考えております。



自動車工学専攻2年 定免 梢



一級資格試験受験まで約半年。私たち専攻科の学生は、一級合格はもちろん、自分たちの将来の夢に向けて勉強を続けています。前回の一級資格試験の合格率が100%だったことをプレッシャーと同時に励みにしながら、入学当時は雲の上にあつた一級との距離を少しづつ縮めています。座学で覚えたことを実技で繰り返す。それを実際の整備と結びつけていく。そんな授業のおかげで、インターネットでは自身を持つて行動することができたし、ペーパーテストにも好影響を与えていると思います。これからもクラスの仲間と共に努力していくきます。

就職

平成18年度 就職状況について

就職部長 山崎信行



JITAN NEWS

JITAN NEWS

入試部長 刀根勝彦

総合学習についての 教 育 本学の取り組み



O B

同窓会「丁酉会」 50周年記念事業

昭和32年に発足した、北海道自動車短期大学の同窓会「丁酉会(ていゆうかい)」が、来年の9月に50周年を迎えます。

本年度の求人会社数は昨年とほぼ同じ状況ですが、企業が前倒しで優秀な人材の確保を目指しているため特に4月に集中しています。昨年までと異なる点は、損害保険会社の技術アジャスター職と関東方面の企業からのサービスエンジニア職の大増加です。損害保険会社は昨年3社で2名の採用に対し、本年度はすでに6社で5名の内々定があり、さらに募集が続いている。関東方面もしばらく求人が途絶えていた企業や新規の自動車・自動車部品メーカーの開発技術職が急増しています。一方道内の企業は、昨年と同様に厳しい就職状況が続いています。

そんな中、内々定を勝ち取った学生たちは5月で前年比13%増、6月で前年比78%増、7月も順調に増加しています。学生たちの意識も変化し、条件の良い本州方面の企業への進出が著しくなっています。本学企業の業績が良くなってきたことと2007年問題による新卒採用が急務になっているためであり、今後もこの傾向は続くでしょう。本学の学生には、自動車整備士だけではなく、自動車関係する全ての職業へ道が開かれているのです。

文部科学省の学習指導要綱では、とかく画一的と言われる学校の授業を変えて、(1)地域や学校、子どもたちの実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色ある教育活動が行える時間(2)国際理解・情報・環境、福祉・健康など、従来の教科をまたがるような課題に関する学習を行える時間として新しく設けられています。この時間では、子どもたちが各教科等の学習で得た個々の知識を結び付け、総合的に動かせることができます。これが目標としていることから、近年、総合的な学習の時間が中学校、高校を問わずに活発に行われています。

昨年は、中学校7校76名、高校10校159名の受け入れ実績があり、本年度についても本学は、高等学校教育機関であることから、将来を担う生徒に対して可能な限り大学として受け入れたいと考えています。

○「丁酉会50周年記念ホール(仮)」の設置
○自動車研究部・ソーラーカー研究会部室建設の助成
○記念誌の発行
○記念式典の開催



TOPICS



今年も教材エンジンをご寄贈いただきました

学生たちがエンジン分解・組立の実習をする時には、実際に使用されているエンジンが不可欠です。3号館2階の「エンジン分解・組立実習室」には、教材エンジンがずらりと並んでいますが、これらは各自動車メーカー・ディーラーよりご寄贈いただいたものがほとんど。歴史と伝統を誇るジタンならではの、自動車業界との太いパイプによるものと言えるでしょう。今年も6月に北海道いすゞ自動車株式会社から直列6気筒ジーゼルエンジンを3基ご寄贈いただきました。実習で大いに活用させていただきます。ありがとうございました。

モータースポーツ研究部では幅広い活動を行っています

モータースポーツ研究部では、WRC・ラリー・北海道など のオフィシャルをはじめ、いろいろな活動をしています。HSP走行会・雪走路走行会などのイベントもいっぱい。学内で国内B級ライセンスの講習も受けられますよ。

最近では、7月8・9日に行われたラリー北海道のオフィシャルとして参加してきました。オフィシャルとは大会の運営に必要な人員のこと。会場設営・安全管理・大会開催中の観客の誘導・ラリーマシンのチェックなどが主な仕事です。大会はあわただしくとても忙しいですが、間近でラリーマシンを見る事ができるなど、モータースポーツ好きの人にはたまらない貴重な体験だと思います。興味のある人はぜひモータースポーツ研へ！



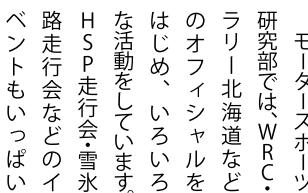
club 自動車研究部が出場している オプションⅡ杯NA耐久戦

自動車工業科一部1年 山口航平



club モータースポーツ研究部では 幅広い活動を行っています

自動車工学専攻 干田武紀



自動車研究部が現在最も力を入れていることはレースです。メインは白老カーランドで行われているオプションⅡ杯NA耐久戦です。昨年秋に初出場優勝、そして今年の春には連続優勝、残る一戦も優勝を狙っています。また同サークルで行われているミニバイク耐久レースにも参戦します。普段は毎日部室にてそれらの車両や部員の車の修理・整備・改造等を行っています。時々整備工場に勤めているOB達も顔出し、作業や就職に関するアドバイス、また鮮やかなプロの技等も披露してくれます。

モータースポーツ研究部では幅広い活動を行っています

モータースポーツ研究部では、WRC・ラリー・北海道など のオフィシャルをはじめ、いろいろな活動をしています。HSP走行会・雪走路走行会などのイベントもいっぱい。学内で国内B級ライセンスの講習も受けられますよ。

最近では、7月8・9日に行われたラリー北海道のオフィシャルとして参加してきました。オフィシャルとは大会の運営に必要な人員のこと。会場設営・安全管理・大会開催中の観客の誘導・ラリーマシンのチェックなどが主な仕事です。大会はあわただしくても忙しいですが、間近でラリーマシンを見る事ができるなど、モータースポーツ好きの人にはたまらない貴重な体験だと思います。興味のある人はぜひモータースポーツ研へ！

職場探訪

さまざまフィールドで活躍する自短のOB・OGたち。
そんな卒業生たちのイキイキとした姿を
現在の職場を通じて紹介するのが「職場探訪」。
今回は女性整備士の永森友佳子さんです。



手に職を付けるために整備士の世界へ。 女性ならではの視点で「気配り点検」を行っています

高校生の時に将来を考え「手に職をつけたい」と思い、北海道自動車短期大学に入学しました。勉強は楽しかったですよ。同期の女性も何人かいましたし、先生方も男女の隔たりなくやさしく教えてくれましたので。2004年に現在の勤務先である「トヨタカローラ札幌本店」に入社しました。現在の仕事は「中整備」と呼ばれる、12ヶ月定期点検が中心です。ひとりで1台を担当するのですが、1台につき1時間以内が基本です。この中で50項目以上の点検を行い、不備な点や交換時期の部品などをピックアップ。お客様に修理や部品交換の提案を行います。

「女性で整備の仕事をつて大変じゃないですか?」とよく聞かれます。もちろん「力」の部分では男性にかないません。しかし整備の仕事には「気配り」「きれい好き」といった女性ならではの視点も要求されるんですよ。特に定期点検は、お客様の車に不備がないかを点検するので「すみすみまできちんと見る」という感覚が非常に大切なんです。ですから、これからは女性の整備士がもっと増えていくのではないかと思う。

職場の良いところは「尊敬できる先輩」がいることですね。「経験」がものを言うことが多いのがこの世界です。例えばトヨタの車でも年式の古い物になると車を知らないと整備に苦労することがあります。そういった点で私の職場の先輩はすごいですよ。知識も技術も経験も尊敬できるだけのものを持っていますから。私も日々勉強させてもらっています。

永森友佳子さん

トヨタカローラ札幌本店勤務

自動車工学科・スタンダードコース2004年3月卒

永森さんの現在の勤務時間は9:00～17:20。シフト制で週に2日くらいの割合で休みがある。休日は友人と過ごすことが多い。残業は月に10～20時間程度。愛車はトヨタの「ヴィッツ」。夢は、知識と技術を持った先輩たちのような整備士になること。



INFORMATION

オープンキャンパスの ススメ

ジタンでは今年もオープンキャンパスを開催しています。参加されたみなさんからは「楽しかった」「参考になった」という声が。実際に足を運んで、自分の目で見て、いろいろと体験してみるとジタンの魅力が倍増するようです。興味深いイベント盛りだくさんのオープンキャンパスに、ぜひご参加ください！

Schedule	12:00	13:00	13:30	16:00
受付	ガイダンス	施設見学・入試相談・模擬実習等		終了

9/16土&10/14土
はオープンキャンパスへGO!



相談会に参加して入試や進学などの不安を解消！



実習の雰囲気を体験できるイベントがいっぱい！



模擬講義で一足早く大学の授業に触れてみよう！



工具を使ってグッズ制作！（キーホルダーなど）



チャレンジメカニック 2006

Challenge mechanic 2006

7/22、8/4、8/7の3日間にわたって「チャレンジメカニック」が開催されました。本物の自動車やバイクを使った体験実習で、参加者は整備やチューンナップの楽しさを実感していました。



学校法人 北海道尚志学園

HNEC 北海道自動車短期大学

〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条6丁目2番1号

●地下鉄南北線「中の島」駅より徒歩15分

●じょうてつバス・南65の中の島線「中の島1条6丁目」停より徒歩1分

TEL／(011)821-0175(代) FAX／(011)821-7300

w w w . h a e c . a c . j p /

学校法人北海道尚志学園 ●北海道工業大学 ●北海道薬科大学 ●北海道総合電子専門学校
●北海道尚志学園高等学校 ●北海道自動車学校

